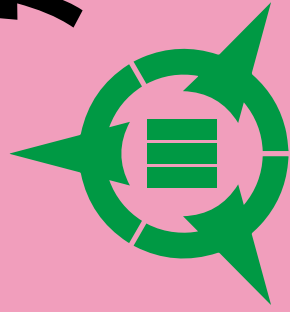


# かわみなみ



# 議会だより

## No.143

令和6年(2024年)  
2月1日発行

議会HP/



目次	
一般会計補正予算	.....p2~p3
補正予算・条例改正	.....p4
成人式アンケート	.....p5
聞いてみました・人事案件	.....p6
議員の判断は	.....p7
一般質問	.....p8~p15
行政調査・編集後記	.....p16



令和5年度「25歳の同窓会」  
繋がるっていいね!!

かけがえない仲間と語り合う、  
これからの自分、変わらぬ古里への思い

# 一般会計 1億2132万円追加し

## 債務負担行為補正※

※地方公共団体が将来にわたる債務を負担する行為のこと。次年度以降の経費支出がある大型の事業などは、ここで挙される。今回は4件計上された。予算は令和6年度当初で計上されるが、それまでに手続きを進めるために債務負担行為として計上され議会に諮られたもの。

### ① 小・中学校入学支援給付金 **2185万円** 町外への入学者には支給しない

町長の選挙公約である支援給付金については4月までに対象者を調査する必要があるため債務負担行為として計上された。入学式に現金で支給。

#### ■支給対象

- ・町内の小・中学校入学 → 支給
- ・町外の小・中学校入学 → 支給しない
- ・町外在住で町内の小・中学校入学 → 支給

#### ■支給金額

- ・小学校 → 5万円
- ・中学校 → 10万円

【委員会報告】子どもは国・町の宝である。町内の子どもが町外の学校に入学した場合も、公平・公正に同じように支給出来るよう再考を促す意見が多数あった。

### ② 畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業補助金 **9億円**

株森孵卵場が孵卵施設の拡大をはかるクラスター事業費で国が2分の1を補助し孵卵舎を増床するもの。現在の年間594万5千羽から5%増の624万2千羽となる計画。土地の確保・近隣の同意もとれている。

### ③ 中学校統合基本計画策定業務委託料 **990万円**

既存中学校を活用した中学校統合基本計画を策定するもので結果の全てを全住民に報告し、計画を推進する。

### ④ 庁舎別館空調機器更新工事 **2963万円6千円**

別館庁舎の空調工事をするもので、工期の関係で計上された。

#### 農地の有効活用の支援

## 106万円

財源

県交付金10分の10

大規模経営体育成支援協力金。規模拡大したい担い手に対し耕作地を農地中間管理機構が斡旋し、耕作地の貸主に対し10a当たり20,000円を協力金として支払うもの。530aで計画。令和5、6年度事業となる。

#### 川南駅周辺土地購入

## 987万円

財源

ふるさと振興基金 789万円  
一般財源 198万円

朝夕の交通量が多く送迎の車が混雑するため駅周辺の環境整備にむけJRとの協議により1,410㎡を購入する。1㎡単価は7,000円となる。

#### パンダ公園塗装

## 300万円

財源

ふるさと振興基金 240万円  
一般財源 60万円

ロープスライダー、木製遊具などの一部木材取り替えや塗装をする。



# 170億3328万3千円に

## 特産品送料無料 好評で追加！

**250万円**

財源

ふるさと振興基金 200万円  
一般財源 50万円

5月臨時議会で6000万円で計上された送料無料事業が好調で年度末で費用が不足する事から増額するもの。令和4年度は5568万円の実績。現在の加入店舗は73店舗となっている。

## 物価高騰支援

**1億7500万円**

財源

国庫支出金

住民税非課税世帯※に7万円交付するもの。  
【委員会報告】令和5年12月中に支給してほしいという意見があった。  
※住民税が課税されている方の扶養親族のみからなる世帯は、給付の対象外。

## 国光原中学校プール塗装

**1125万9千円**

財源

ふるさと振興基金 900万円  
一般財源 225万9千円

プール底面の塗装がはげ、利用に危険となることから塗装するもの。



プール底面の様子

## 小学校トイレ洋式化すすむ

**484万円**

財源

ふるさと振興基金 387万円 / 一般財源 97万円  
新入学児に対応し春休み中にトイレ洋式化するもの。  
【委員会報告】平等に配分設置し公平性を保つように意見があった。

## 学校給食費支援

**578万5千円**

財源

国庫支出金  
(原油物価高騰対策)

物価高騰により国の交付金を活用する。肉類・豆腐・調味料など高騰が著しい事から中学校201万1千円、小学校377万4千円を計上し保護者負担なく、給食の質を維持するもの。

【委員会報告】

子供達の成長に必要な栄養豊富な給食の提供を怠らないようにすべき。



## チーカ事業者への早急な支払を

### 川南町電子地域通貨事業特別会計より

**補正額 2726万9千円**

財源

- ①本人チャージ……1736万9千円
- ②県市町村連携プレミアム付商品券発行事業助成金…190万円
- ③物価高騰等対策プレミアム付商品券発行事業助成金…800万円

川南町電子地域通貨の利用が増加したため。第1弾が一人5万円上限……190万円  
第2弾が一人50万円上限…800万円(6日間で完売)  
【委員会報告】チーカの売上金の入金が遅い。最長18日、最短でも11日後になることから速やかな支払態勢を構築出来ないか意見があった。

## 条例改正

### 「ぶらっつ」からの納付金は施設改修や備品の更新に限定

「ぶらっつ」を運営する指定管理者「川南まちづくり株式会社」が町に収める納付金（最終利益）を積み立てるために設置された「川南町地域活性化基金条例」の一部改正が提案され賛成多数で可決された。説明では、施設や備品は町が整備したものであり、会社の利益から支出される納付金は、施設の改修や備品の購入に充当されるのが当然であり、施設運営が長期にわたり継続できるようにするために、基金の用途から「地域活性化に資する事業」とする部分を削除するとの理由であった。



#### 反対討論あり

町長が言う「ぶらっつで稼ぐ」との政策に相反する提案だ。また、地域に利益が還元されなくなり、地域活性化の目的が果たせなくなる。

## 補正予算

### 一時預かり事業補助金を返還へ

■ 私立保育園 4園 2,937万円（町・県・国へ返還）

■ 町立保育所 534万円（県・国へ返還）



令和2年度から4年度にかけて私立保育園及び町立保育所が申請した、子ども・子育て支援交付金の一時預かり事業の補助金（運営費の事務経費加算分）が※対象外であることが県の指摘で判明し、返還金が発生した。※本来の補助対象は、通常保育と一時預かり保育を別の施設で行っている事業所。今回申請した保育園（所）は同じ施設で一時預かりを行っており補助対象ではなかった。

#### 委員会審査意見

対象外である以上、国及び県に返還はすべきであるが、町側も大いに反省すべき。職員の増員も含めチェック体制を見直し再発防止の徹底を。返還に際しては保育園への配慮を求める。

#### 福祉課説明

申請者はそれぞれの保育園（所）ではあるが、申請を受け付ける側である町も令和2年度の時点で補助対象外であると気付かずチェック体制に不備があった。返還に際しては保育園側と話をしながら進めていきたい。

### 川南町の人口と推移

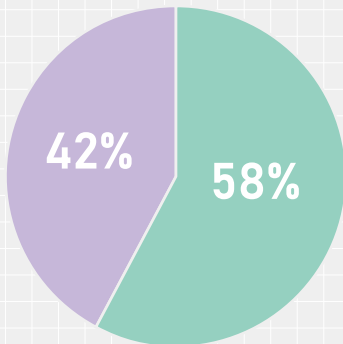
毎月1日現在の現住人口

	人口	転入	転出	自然増減		世帯数
				出生	死亡	
令和5年11月	14,602人	31人	44人	4人	20人	6,080世帯
令和5年12月	14,596人	49人	41人	5人	19人	6,086世帯
令和6年1月	14,593人	41人	27人	3人	20人	6,098世帯

# 令和6年 新成人に聞いてみた

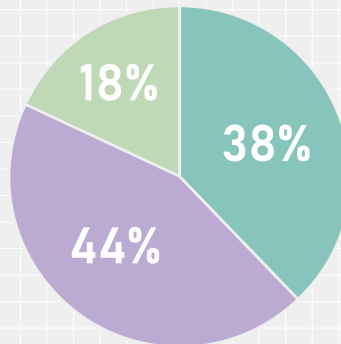
アンケートの結果（一部を掲載）

## Q1 性別について



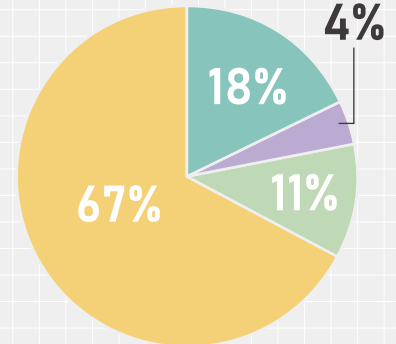
■ 男性 50名  
■ 女性 36名

## Q2 現在の住んでいる場所は？



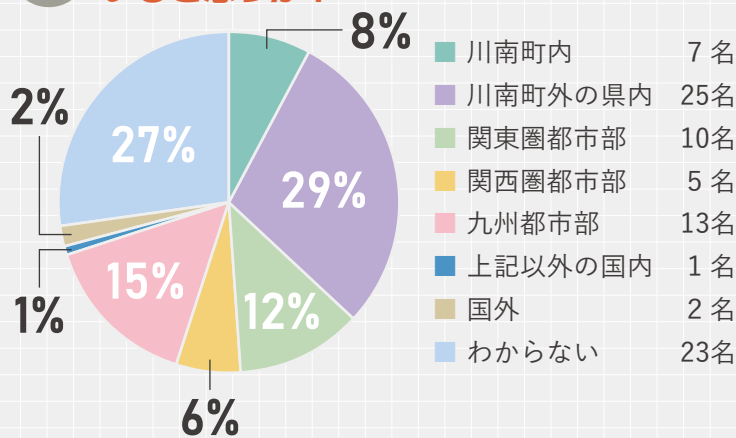
■ 川南町内 33名  
■ 川南町外（県内）38名  
■ 川南町外（県外）15名

## Q3 現在の職業について



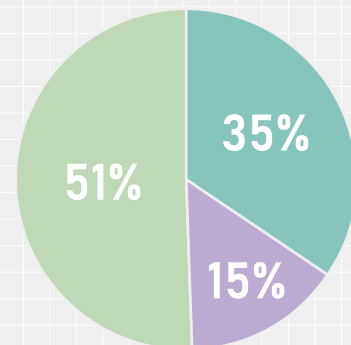
■ 正規社員 15名  
■ 非正規社員 3名  
■ 公務員・団体職員 4名  
■ 学生 56名

## Q4 10年後、どこに住んでいると思うか？



■ 川南町内 7名  
■ 川南町外の県内 25名  
■ 関東圏都市部 10名  
■ 関西圏都市部 5名  
■ 九州都市部 13名  
■ 上記以外の国内 1名  
■ 国外 2名  
■ わからない 23名

## Q5 将来、川南町で生活を希望しているか？



■ はい 30名  
■ いいえ 13名  
■ わからない 43名

アンケート依頼者125名 86名回答 回答率68.8%

令和6年成人式会場にて、アンケートを行った。まずは、アンケートへのご協力に謝意を申し上げる。これまでアンケートを行ってきたが、今回は、デジタル（-googleフォーム）を利用して、式典第2部の冒頭に回答にご協力いただいた。平成29年の成人式にて行われたアンケート（回答者133名/158名）の中で、「将来川南に住みたいですか？」という質問に対し、「はい：68名（51.9%）」「いいえ：51名（38.9%）」「どちらでもない：12名（9.2%）」というデータが残っている。今回のアンケートでは、「はい：35%」「いいえ：15%」「わからない：51%」と、参考までではあるが、将来川南町で生活を希望する考えを持つ若者が大きく減少している結果が表れた。これからの川南町を担う若者が、生まれ育った川南町で安心して安定的な生活をするために、改めて何をすべきか考えていく必要を感じた。

最後に、自由欄に書き込まれた言葉をいくつか紹介したい。

●子供ができた時に支援してくれる町にしてほしいです！ ●若者の声を聞いてほしい！ ●空き家をなくそう！ ●ファストフード店などを町内に建てる ●もう少し飲食店が増えてほしい ●川南の事が大好きです!! 高校、専門とも市内に通ってますがそこで川南の子たちはいい子だね!! って言われるほど人もいいのが大好きです！ ●I Love KAWAMINAMI !!!

# 議案質疑 Q&A

## 聞いてみました



### 危機管理室を4月から設置（川南町課設置条例一部改正）

**Q** 危機管理係等ではいけないのか、危機管理室は何か特別な意味を含んでいるのか。

**A** （町長）私の選挙公約である危機管理室をつくると言っている。係と室ではその立場が違うと思う。災害、その他のもろもろを大きく担ってもらいたいということで、室が一番ふさわしい事から室にする。特段の理由は、そういう理由。

**Q** 室長なり人員配置、そういったものも今後出てくるのか。

**A** （町長）来年の4月に海上自衛隊を退職される方をお招きし、危機対策管理監というポストをつくるためにも、室がふさわしいんじゃないだろうか。

**Q** 総務課の中に危機管理室を置く場合、この課の事務分掌のところに、総務課に危機管理室を置くとか入れるべきでは。

**A** （総務課長）事務分掌の中に危機管理に関することを挙げておる。危機管理室については、事務分掌の「防災に関すること」で整理する。

**Q** 総務課に危機管理室を置いたら条例の中で見えて来ない。誰が見ても納得するような条例をつくるべきでは。

**A** （総務課長）防災に関することで整理しているので、その中でできると考える。

### 中学校統合への一歩（中学校統合基本計画策定業務委託料）

**Q** 債務負担行為補正の中学校統合基本計画策定業務委託料について説明を。

**A** 990万円で中学校の統合について検討を進めるための資料を作成する。アンケートも実施する。今年度中に契約を行って業務のほうを進めて、新年度予算を計上する。

## 人事案件



教育長  
ちようそ か べ たかかず  
**長曾我部 敬一 氏**

坂本幹夫氏の  
令和5年11月17日辞任  
に伴うもの。

## 川南町議会 議会報告会を開催します

皆さまのお越しをお待ちしております。

【日時】 令和6年2月9日(金) 午後6時から

【場所】 農村環境改善センター  
情報コーナー(研修室)

詳しくは、議会事務局 (☎0983-27-8017) まで

# 令和5年 11月臨時会 12月定例会 議案賛否表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議は議長  定例会・ 臨時会議案	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		乙津弘子	内藤逸子	蓑原敏朗	田中宏政	河野禎明	児玉助壽	中村昭人	米田正直	中瀬修	小嶋貴子	三原明美	徳弘美津子	河野浩一
<b>令和5年 第3回 (11月) 川南町議会臨時会</b>														
<b>11月20日 臨時会報告・議案 (全員が賛成し承認・可決した)</b>														
報告第 6 号	可決	専決処分の報告について												
報告第 7 号	可決	専決処分の報告について												
議案第 5 6 号	可決	川南町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について												
議案第 5 8 号	可決	令和 5 年度川南町一般会計補正予算 (第 4 号)												
<b>11月20日 臨時会報告・議案 (賛否が分かれた議案)</b>														
議案第 5 7 号		川南町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び川南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について												
	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
同意第 1 6 号		教育長の任命について												
	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	議
<b>令和5年 第4回 (12月) 川南町議会定例会</b>														
<b>12月12日 定例会議案 (全員が賛成し可決した議案)</b>														
議案第 5 9 号	可決	川南町課設置条例の一部改正について												
議案第 6 1 号	可決	川南町国民健康保険税条例の一部改正について												
議案第 6 2 号	可決	川南町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について												
議案第 6 3 号	可決	川南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について												
議案第 6 4 号	可決	令和 5 年度川南町一般会計補正予算 (第 5 号)												
議案第 6 5 号	可決	令和 5 年度川南町電子地域通貨事業特別会計補正予算 (第 3 号)												
議案第 6 6 号	可決	川南町水道事業会計補正予算 (第 1 号)												
選挙第 1 号	可決	川南町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について												
発議第 4 号	可決	子宮頸がんワクチン接種の推進を求める意見書について												
<b>12月12日 定例会報告・議案 (賛否が分かれた議案)</b>														
議案第 6 0 号	可決	川南町地域活性化基金条例の一部改正について												
	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議

# 一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。



## 輸入肥料、飼料等 高騰対策について

児玉 助壽

### 休耕農地を活用し、自給飼料生産を推進すべきでは

【問1】町長は9月定例会で、外国の輸入に頼らない自前の肥料、飼料ができたら非常にいいなという風に答弁された。その取組み本気度を伺う。

【答1：町長】現在の状況を見ると、輸入肥料、飼料の高騰により、国内飼料等の需要が高まっており、国も県も国産飼料、肥料の生産推進を勧めている。本町も子牛農家と畜産農家のマッチングの取組みによる稲の発酵粗飼料生産の面積拡大をしている。休耕農地が51.3haあるのは、承知しているが、農家の高齢化が進んでいることや休耕地の日当たりが悪い等、採算が合わない場所が多いと聞いている。

【問2】本町の農家戸数は平成17年度を境に減少し続け、令和5年度現在682戸、ピーク時の55.7%まで減少、先人達が艱難辛苦の末に開墾してきた耕地の約44%が農家のいない休耕地だ。こうした休耕農地を有効活用するのが、我々の努めと思っている。同じ思いで、農業公社を核に農業法人を起業させ、休耕農地を自給飼料生産に有効活用し、本町畜産業の経営安定化に努めるべきでは。

【答2：町長】農家は団結して大きな壁を乗り越えてきた。農家は同志でもあるがライバルでもある。競争しながら少しでもよくなろうとやってきた。つまりくこともある

だろう。しかし、これを乗り越えないと先は見えない。だから今は自己努力でどうすればいいかと自分で考え、この艱難辛苦を越えていくというのが一番大事ではないか。

【問3】6月定例議会で、町は輸入飼料高騰等の影響がある酪農家支援のため、補助金を交付したが、半年経過した。飼料高騰問題は抜本的に解決したのか。

【答3：産業推進課長】酪農家の話では、以前として厳しいと。ただし、こういう事業をやってくれて非常にありがたいという言葉を得ている。

### 現状に満足せず官民学協同で現状を打開すべきでは

【問4】補助金が飼料を生産するはずないので、抜本的な解決にならないが、補助交付の費用対効果の追跡調査による、次の手立ての考えは。

【答4：町長】まだ追跡調査に至っていないが、言われるように次の手立てを考えなければいけないので、JA、酪農家等と話しながら考えていきたい。

【問5】次の手立てが現物給付補助になれば、各種畜産農業、燃油高騰の経済団体は補助金を要求し困ると思う。自給飼料活用の利点は、輸入飼料混入が危惧される家畜伝染病ウイルス等の侵入を防止し、またコンビニ等が廃棄する期限切れの食品を加熱加工、飼料に配合すれば食品ロス問題が解決し、カロリーベースでの食料自給率アップもでき、SDGs持続可能社会を実践できる。こうした理由で自給飼料生産を推奨するが、今まで通りの補助金給付でこの飼料高騰問題は解決するか。

【答5：町長】休耕農地を少しずつ耕せるような環境を作り、飼料肥料をやっていくのも一つの案と考えている。



## 自治公民館制度検証

荻原 敏朗

### 検証の進捗は

【問1】前町長は24の分館制を現在の自治公民館制度に改めた。答弁では個人世帯は減少し、自治活動も活発化しているとのことだったが、10年を経過、検証すると、進捗状況は。また所期の目的は達成されているか。

【答1：町長】公民館制度を含め検討を進める。

【答1：まちづくり課長】7月に自治公民館長6人連名で要望書が出され庁議で検討している。自治公民館役員と振興班長にもアンケート調査実施。自治公民館移行後、所期目的の振興班未加入問題は意図したところに至っていない、地域振興計画は達成に頑張っている地域も

あれば協力が得られず未達のところもある。

### 今後の検証課題

【問2】自治活動はいざ鎌倉に備えることだと思うが、検証には自治公民館役員等の現場の声を聴いて欲しい。また現在のお知らせかわみなみは全戸配布だが、空き家にも配布が見られ、役場に連絡しても自分で郵便局へ連絡をとく対応に疑問、詳しくはQRコード等の住民からの不満も聞いている。併せて検証を。

【答2：総務課長】お知らせかわみなみ全戸配布により、振興班未加入世帯にも行政情報が届け可能になった。QRコードは社会一般に利用される仕組みで今後も利用するが、社会情勢を見て検証は必要。

### 農業現状

【問3】燃油高・肥料高・飼料高で畜産・施設、露地園芸、どの部門も苦戦している。農業現況をどう思うか。現況を町





## ようやく点灯した 防犯灯管理について

内藤 逸子

【問1】防犯灯は、LED灯になり10年間契約であるが、不具合がある所は、いつ改善されるのか。

【答1：町長】町内25ヶ所に不具合があると報告を受けている。LED灯の不具合と九州電力側の電線の不具合とがあり、復旧には時間がかかっている。

### 道路の白線はっきりして

【問2】道路の白線について、町内の道路の白線が薄い場所の実態は把握しているのか。特に雨の日や夜間は大変見えにくいと、高齢者の事故、逆走等につながる可能性がある。早急に把握し、改善が必要ではないか。

【答2：町長】町道の路線図の路線番号で確認し、全路線の道路パトロールを実施し、損傷箇所や危険箇所など、区画線も含めて調査を行っている。区画線については、工事で更新している場合や、通学路点検で要望のあった箇所など、予算の範囲内で対策を講じている。

### 生理用品 早く設置を

【問3】学校トイレに生理用品の設置について、9月議会で質問したが、その後どう取り組んでいるか。

【答3：町長】設置場所を工夫し、衛生状態は保てると考えている。今回、調査の状況を踏まえると、実証実験を行うことで、どのようなニーズ、要望があるのか見えてくる。まずは、中学校において、実証実験を行っていききたい。

### 住宅リフォーム取り組めないか

【問4】住宅リフォーム事業については、小さい予算でウィン・ウィンな政策。住宅リフォーム事業を予算化できないのか。

【答4：町長】住宅リフォーム事業については、5年間実施をしたが、物価高騰による経済活動の低下が予想されるので、国・県等の補助金等の事業を活用し、地域経済の活性化を図り、住宅リフォームだけに限定せず、電子地域通貨等も活用して、多様な利用を含めて検討をしていきたい。

### 畜産農家の埋却地について

【問5】佐賀県や鹿児島県出水市で高病原性鳥インフルエンザが確認された。このニュースを聞いて、畜産農家は不安を感じているが、昨年1月に町内で発生した鳥インフルエンザで殺処分したニワトリを、県が土地所有者との契約を確認しないまま埋却していた問題は、まだ決着していないと聞いている。埋却地を他人の土地で代用する予定の畜産農家が、県内に約330戸あることが分かっているが、町内には、契約書の有無を含め、同意のある埋却地かどうか確認作業をしているのか。

【答5：町長】畜産農家の埋却地については、家畜伝染病予防法に定められた飼養衛生管理基準において、畜産農家自身が確保することが義務づけられている。その報告については、まず、市町村に提出され、取りまとめた上、所管の家畜保健衛生所に提出される。令和5年5月に、宮崎県が今までの定期報告書の内容に一部不備があったということ認め、本年度の報告書から、自己所有地以外を埋却地としている場合は、覚書等の書面を提出する。それについても、本町の窓口で定期報告を受け取る際に、確認を全て行っている。

長自身の目・耳で確認し川南だけででもできる方策を。

【答3：町長】世界の情勢変化により物価が上昇、国が前面に出て解決すべき課題が多いが、町民の声を聴くことは必要で極力できるようにする。

### 露地園芸の振興

【問4】遊休農地・荒廃農地が多くみられるが、本町の露地園芸の現況認識・対策、耕畜連携の動きは。

【答4：産業推進課長】生産費を農作物価格に転嫁できない現状。WCS, 稲発酵粗飼料生産に耕畜連携を推進し、協議会を立上げた。

### 作物選択と温暖化対策

【問5】かつては畑で甘藷が栽培されていたが、ジュース工場にアルコール生産を促す等して供給先確保しての作物選択奨励を。また温暖化による高温障害を想定した作物選定・栽培方法の検討も必要、持続可能な農業実現を。

【答5：産業推進課長】さつまいもの本腐れ病も流行り焼酎メーカーも苦慮している。取引先確保が絶対必要で関係機関と話し合い協議する。

### 運動公園の改修進捗・その他の計画と樹木伐採

【問6】野球場の改修進捗は、また周辺樹木伐採の理由は。

【答6：建設課長】工事は順調で、陸上競技場を令和8年度、パンダ公園・トイレ・休憩場等は令和9年度工事予定。樹木は前副町長・前教育長含め15名で協議し、今後の維持管理を考慮し撤去を決定した。

【問7】都市公園条例第6条には竹木の伐採、植物採取禁止を謳っている。役場が条例を守らないとは。住民とあまり乖離した事務・事業を行うと住民の理解・協力が得られなくなる。

【答7：町長】2度と起こしてはならない事案で、教訓としたい。



野球場の改修工事



## 農業経営安定のための農産物のブランド化について

米田 正直

【問1】他地域との差別化を図り、競争力の強化を高めるためにブランド化されていくわけだが、宮崎県のブランド認定作物は。また、JA尾鈴管内における指定作物はあるのか。農産物が市場に供給できる量を確保できているのか。ブランド化による農産物の安定供給のために、行政としてどのような関わりをされているのか。また、今後どのような対応をされていくのかお尋ねしたい。

【答1：町長】農産物のブランド化について、今、JA尾鈴管内では農産物の16品目がブランド化の指定を受けている。

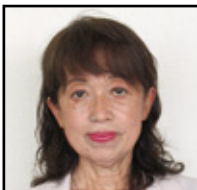
【答1：産業推進課長】宮崎牛、宮崎ブランドポーク、宮崎地頭鶏、あと果樹の完熟マンゴー太陽のタマゴ、完熟きんかんたままにおいては認知度が高い。一方、野菜・花きについては、ブランドの認知度が10%以下というような状況である。ブランドの認証品は市場に供給できる量を十分確保できているというのが現状ではあるが、野菜・花きについては認知度調査の結果からも分かるように、ブランド認証による付加価値が価格に反映されているとは言い難い。宮崎のブランド認証制度は現在見直しを行っている最中であり、令和7年度の新認証制度スタートに向けて、県が市町村やJAを含めた関係機関を集めて協議を行っている。町としても連携して、ブランド認証が農業者の所得向上につながるよう関わっていききたい。

## 中学校統合について

【問2】選挙戦では新中学校は造らないということで、民意を問うたということであるが、どうしても統合になると、場所の問題で住民に問う必要がある。既存の中学校を利用するとなると、どちらかを選択しなければならない。再度、統合に当たっての経費や長寿命化を図っていく校舎の維持費、どういった中学校を造るのか、町民にできるだけ正確な情報をお示しいただき、町民の考えを聞いてみる考えはないか。また、新中学校建設について再度問うことはないのか。

【答2：教育課長】現在、中学校統合についてということで、既存の唐瀬原中学校と国光原中学校の統合について、生徒数の推移、それからハード面、ソフト面の問題の洗い出しというのをやっている状況である。今後の計画としては、中学校統合基本計画の策定を行い、中学校統合の検討材料とする計画にしている。また、来年度、学校施設長寿命化計画の見直しを計画しており、既存施設の調査を行った上で、施設の利用や改修の計画の策定を予定している。これらの調査等を材料にしてということで、いろんな検討材料を出した上で、アンケートの実施、それから御意見を伺うということになるかと考えている。今この場でアンケートはどのような形にするかというのは、まだちょっと明言できない状況である。白紙からということで進めていきたい。

【答2：町長】再度確認のためのアンケートをということであるが、それは既に4月23日の総選挙で、統一地方選挙で終わっておる。



## 坂本教育長退任について

徳弘 美津子

【問1】坂本元教育長の退任に対しての宮日に記事が掲載された。9月議会での同僚議員たちの坂本教育長の退任すべき発言について看過できないほどの発言をした同僚議員に申入れをした。これは庁舎内にも一斉放送され、職員、傍聴の皆様の憤りを感じたと聞いた。町長は、(同僚議員の)一般質問やこの記事に対して、どのように感じていたか。

【答1：町長】私は宮日の記事を読んでない。コメントは特に無い。

【問2】6月議会で町長は同僚議員については、志が同じ同志と言われた。同志の方たちが当時の教育長に対して退任すべきという考えを伺う。

【答2：町長】4月21日に着任したときに教育長が、「町長の考えに従って、教育長として働きます」と言った。「お願いします」と私は言った。以後の発言は坂本さんがいろんなことを発言され、私の考えとちょっと違うと思っただ。先月の2日、辞表を出されたので受け取った。

【問3】町長とはかみ合わない形になった、町長と方向性が違って来たということに対して、教育長に対しての不信任はなかったか。

【答3：町長】私と副町長と教育長と、これからの教育行政をどうやって決めるかと案件を出していたが、少しずつ、温度が違う、副町長のほうからも、ここはこうじゃないでしょうかという意見はたびたび出たが、不信任とかそういうところまでは行って無い。教育長に対して辞めて欲しいとは一切言っていない。

## 新教育長に問う

【問4】町長選の争点として中学校の統廃合があった。



## 子ども達の通学路 について

中瀬 修

【問1】 県道307号、唐瀬工区歩道設置工事計画について。

【答1：建設課長】 令和5年度現在、工事告示中。令和6年1月着工、更生橋から川南病院間を施工後、更生橋から川南小学校間を施工予定。

【問2】 工期と工事内容は？

【答2：建設課長】 令和7年度まで3か年で工事完了予定。歩道を2.5mに拡張、通学に支障がないようにする工事。ガードレール等の設置はしない予定。

【問3】 県道307号（旧林クリニック前T字路交差点～給水塔西側交差点）の歩道に自転車通行レーンの設置はできないか？

【答3：町長】 自転車道と歩道は、幅が3m以上ないと分けられない。お互いに注意しながら動くしかない。現場は、約2.3mしかないため設置ができない。交通安全をよく言い聞かせ、自転車が来たら横に寄るといったような指導が必要。

【問4】 歩道に部分的に自転車のマークを設置し、視覚的な注意喚起ができないものか？

【答4：町長】 道路に対するマーキングはいろいろな規則があって、なかなか厳しいと思う。

【答4：建設課長】 数年前に道路標識等設置はしている。町通学路交通安全対策会議等で報告し、県職員やPTA連絡協議会、各小中学校の先生などに理解してもらい、注意喚起していくことも必要と思う。

【問5】 広域農道唐瀬橋南側の降雨時の排水対策について

【答5：建設課長】 平成26年から排水パイプ等で対策を行ったが、完全に排水ができていない状態。他の工法について早期に対策を行うよう計画する。

【問6】 運転者に対し、視覚的に看板等で減速を促すような看板設置はできないか。

【答6：町長】 看板の設置はしない。根本の水たまりを解決できる方法を計画したい。

### 町内のタクシー利用状況について

【問8】 2024年問題に対する町の対応について。

【答8：町長】 行政が立ち入りできない。民間の業者が手を打つべき。行政としては、協議の場を設けることは可能。

### 教育環境について

【問9】 文教産業委員会で矢吹町を視察し、新中学校の必要性を感じた。子ども達の安全性を確保するためにも新中学校を建設することも含めて議論を求めているがどうか。

【答9：町長】 既存の中学校で統合する考え。長寿命化経過に沿って進める。大地震等で校舎にひび等が入った場合には、建て替える。あと30年の期限の中で、稼げる行政で基金を貯めその時の首長が困らないように体制をつくる。

【問10】 既存中学校でどちらに統合を考えているのか。

【答10：町長】 教育委員会が予算を要求し、それに予算をつけることが行政としての立場。細部のことについては教育委員会に任せている。

【問11】 今後の中学校について子育てする世代の意見や声を聞く場を設けるつもりは。

【答11：教育長】 その考えの通り。アンケートを含め進めていく。

それで、中学校の白紙を訴えた現町長が当選したという流れで、教育が今回の選挙の一つの争点になった。マスコミをにぎわし、世間をにぎわし、保護者を惑わせた、この川南の今の教育環境の現場を、教育長としてどう考えるか。

【答4：教育長】 白紙ということで、教育委員会としてどうするか。いずれにしても統合するということも確認できた。アンケートを取ったり、またその他の住民やPTA会長の意見を聞く。

【問5】（前政権で取ったアンケート）結局64%の方が中央、新しい中学校を望んだのが白紙にされた。諦めに似た保護者の思いを教育長は酌み取れるか。

【答5：教育長】 白紙は白紙。そこから私の責務、それがまた議論する中で、1年長引くか、2年長引くか、もっと早くできるか。それは話し合いながら修正する。

【問6】 子育て世代は成年期の19歳から39歳、人口比の17.76%、子育ての世代の声を聞いていただき

いと云っている。

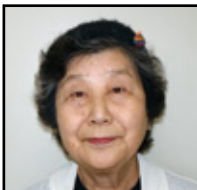
【答6：教育長】 厳しい環境におかれておられる若い子育ての方々について御協力させていただきたい。

### 町長と職員の関係性

【問7】 11月庁議の町長の発言では、町長、副町長が指示したことは最終判断であり、職務命令に当たるので必ず従うこと。従わない場合は、職務命令不服従として懲戒処分の対象になることもあるとの発言の真意を伺いたい。

【答7：副町長】 何回も同じことを言ったことはある。

【答7：町長】 最終的に責任を取るのとは私。報告、連絡、相談、それが守られていないのが現状。何か大きな行事をやって、大きな障害を負ったと。その場合は、町が、私が訴えられて、私、町で損害賠償をしないといけない。だから最終責任は私にある。だから私に必ず全部報告してこい。もし何か起きた場合は懲戒処分と言っている。



## 新教育長を迎えて！

乙津 弘子

### 新教育長の教育理念を聞いて

【問1】教育長の教育理念。すばらしい。特に、夢のところが良かった。夢が自分を引っ張ってってくれたなと思う。今まで出会った教育者の方の教育理念と少し違うなと思ったのは、多分教育長が外国で教育されたからかもしれない。外国でのエピソードのようなお話を。

【答1：教育長】まず、第1回目は36歳のときハンブルグ、まだ東西ドイツが統合されていない昭和59年に、西ドイツのハンザ同盟で有名なハンブルグ日本人学校に着任した。子供たちを夏休業中にハルツという林間学校に連れて行ったとき、そこは東ドイツと西ドイツの「ベルリンの壁」のあるところだった。西ドイツ兵と東ドイツ兵が銃を持って構えている。お互いに牽制し合っている。その様子が珍しいので、子供を連れて写真を撮ったら兵士が私の方へ向けてピストルを構えた。撮影をばつとやめた。殺されやしないかという体験をした。

### 高等学校等就学支援給付金の「不適切な減額分を返却」について

【問2】就学支援給付金の不適切な減額部分を返却すべきである、9月議会でも質問した高校生・専門学校生たちに月額5,000円、1年で6万円、3年間で18万円。2022年度、突如5,000円を3,000円にした。1年で2万4,000円の減額。2023年度もそのまま実施するはずだったようだが、東町長の新執行部は、この減額を不当として元に戻した。まちづくり課は「2022年の1年間減額、給付金の効

果を見るため」という説明。しかしながら、2022年1年間の減額の効果の記録もない。この給付金事業は続いていたのでスタートの起案、減額の際の記録は特に保存しておくべき。記録がないということは理解できない。職務怠慢ではないか。高校生等が一方的に不当な損失を被ったものであり、復旧はもちろん弁償的な措置も必要。町長のお考えを。

【答2：町長】決算等でもう過ぎてしまっていて承認を得ておるので、もう元には戻れないんじゃないかなというふうに思っている。

【問3】給付金の財源は、ふるさと納税の基金。当初、寄附金つまりふるさと納税は20億円と予定されていたのに、現在58億円！年度末には60億円になるのではないかと。つまり300%。返却の財源の心配をしなくてよい。返却金は1,200万円弱。昨年度のけていたお金でもある。すぐ返却できる。町長のお考えを。

【答3：町長】これを新たに予算を組むということは、ちょっと難しいんじゃないかなと。通常そういうことはやっていないので、謝罪でよければ、私が一生懸命謝罪をしたい。

【問4】東町長の一番大切な公約は、新中学校を建設しないということである。私もそうだったが、それが実現した。小中学校の子供たちには洋式トイレを、高校生・専門学校生たちには不適切な減額部分を返却する、どちらも急いで実行してほしい。今「難しいのでは」と言われたが、絶対にできない、法的にできないとは聞けなかった。お金がどうしても無いと言ったら、私も観念するが、あるのに出さない、これからのために貯めておくというより、まず今の迷惑をかけた子供たちに返すべき。本来子供たちのお金である。法律は私たちのためにあるはず。町長のお考えを。

【答4：町長】やはり決算が済んでおる以上、もうそういうことをすべきではないというふうには私は思っている。この分については何とか御容赦していただきたい。



## 川南町の二オイ問題について

三原 明美

【問1】9月定例議会で質問した適応頭数、規制区域の変更はどのように考えたのか。

【答1：町長】既存の規制区域には畜産をはじめ、食品製造業など、多種多様な事業者が経済活動をやっている。そういう人達に極めて大きな影響を与えるので、色々な高所大所から検討したが、規制は今のところ難しい。

### 中学校の通学路について

【問2】6月、9月に質問した、中学校の部活終了後の通学路の安全照度の件は、どのように進めているのか。

【答2：町長】非常に真剣に受け止めている。約束を

する。来年の3月までには確認をして設置できるように道筋をつけ話を進めていく。

### 川南町の観光地について

【問3】9月に質問したサーフィンセンターの再整備の流れはどうなっているのか。

【答3：産業推進課長】令和6年度の当初予算の編成をして、サーフィンセンターを含めた伊倉浜自然公園の再整備について基本計画を策定したいと考えている。

【問4】サーフィンセンターのあぼろぼろの椅子、机は取り除いたほうがいいのでは。

【答4：産業推進課長】テーブルの中の鉄筋が錆びてコンクリートが浮いているような状態。撤去しようと見積をお願いしている。

### 川南町の教育について

【問5】中学校3年生が川南の公営塾で90パーセント



## 地域活性化拠点「ぷらっつ」 に対する町長の考えを問う

中村 昭人

【問1】令和2年4月にオープンし、当初はコロナ禍で思うような展開ができなかったが、それでも令和4年には4億円を売り上げ、町には2,000万円を納付するまでになっている。町長の考える「ぷらっつ」の戦略は。

【答1：町長】利用客の利便性とサービスの向上。レストランが15時頃に終わる状況は、そういうサービスエリアやパーキングエリアはない。どうすれば一番いいか、日々副町長と検討している。指定管理契約が令和7年3月までであるが抜本的な改革はちょっと厳しい。いろいろ改善を要望しているが、なかなか真意が伝わらない。

【問2】合法的に管理者を変えるとは、どういう意味か。

【答2：町長】契約というのは期限がある。新たに業者がおれば話し合いながらそれで決めていくという意味だ。

【問3】指定管理で契約している中で、町長が公の場で法的に変えると言うというのは越権行為ではないか。副町長は役員であり、一緒に改善に汗をかくのが務めではないのか。

【答3：町長】副町長はその役員会でもものすごく苦労している。いろんな提案をするが否決をされている状況だ。お客様のために「ぷらっつ」はある。

【問4】町長は「ぷらっつは第三セクターの会社。そこをまちづくり会社に委託しているが、役場のほうを本社と考えたら子会社だ」と言うが、子会社というのは出資比率を50%以上持つということだ。(町は33%) そういった認識が駄目なんじゃないか。

【答4：町長】施設は町が資金出している。町の施設

だ。何を勘違いしているのか。

【質問者】町が作ったが運営は指定管理でまちづくり株式会社に出している。子会社ではない。

### 政治姿勢について問う

【問5】町長は思いつきやその場しのぎで発言をしていないか。

【答5：町長】それは私に言っているのか。前の町長じゃないのか。そんなことを言っていたら議員としての資質を疑われる。

【問6】町長の政治姿勢でとても容認できないことがある。それは人の批判、前の政権の批判、タウンミーティングでのメディア批判、極めつけは他の町長の批判。こういった姿勢に多くの町民が嫌気を差しているのに気づかないか。

【答6：町長】そういうことは全くない。私は事実を言っている。そういう揚げ足取りのためにタウンミーティングに来ているのか。もう来ないでいただきたい。

【問7】来ないでくださいと、よく言えたものだ。私は矛盾点を突いて、言論で町長の考えを変えようとしている。いいものはいい、駄目なものは駄目である。最後に一つ私に届いた若者の声を紹介する。「確かに福祉も大切です。ですが、新しい中学校を楽しみにしていた子供たちが将来川南に戻って税金を払ってくれると思うか、町長に聞きたいです」。若者、子育て世代の声を聞く姿勢は持っているか。

【答7：町長】いつも持っている。町長室のドアはいつも開いているので来ていただきたい。教育は建物でなく中身。質を高めないと学力の意味がない。何のために学校に行っているのだと。給食のために行っている、そういう学生になってはこの町のために少しもならない。学力を高めると、これが一番大事だと思っている。

位が勉強している。とても好評で無料と聞いたが、好評なら、もっと広げて小学生からしてはどうか？小学4年生頃から、だんだんと難しくなり、塾通いとなるのでは。しかし残念ながら川南町にはあまり塾がない。それに解らなくなると登校拒否の原因の一つになるのでは。また、塾代も高く、3、4万と聞く。そこで、自治体が運営する営利を目的としない公営塾を作り、しっかりと学力を付けさせて、行ける学校ではなく、行きたい学校に行けるようにしてあげてはどうか。

【答5：町長】かなり私はいいい取り組みだと思う。

### 持続可能な商店街について

【問6】今の商店街をどう思うか？

【答6：町長】障害が2つある。一つは後継者問題。もう一つは住宅兼店舗。

【問7】今までに持続可能な商店街にするために、行政はどのようなことをやってきたのか。

【答7：産業推進課長】創業支援補助金、商工業振興支援補助金、年末大売出し補助金などを出している。

【問8】行政も経験と知恵をだし、持続可能な商店街にする仕掛けを、商店主と商工会と町民と川南町全体で考えて欲しいと思うが、町長どう思うか。

【答8：町長】行政も、商店街の皆さんからの意見、いろんな人のからの意見をもらい、少しずつ前に踏み出す勇気が一番必要。

### 町道の周りの整備について

【問9】道路まで伸びきった木や竹の対処はどのようにしているのか。

【答9：建設課長】近年は高枝等を道路維持委託で定期的に行っている。町民からの要望があれば、その都度対応している。職員も随時パトロールを行っている。今後も安全確保のために対応していきたい。



## 国からの重点支援地方 交付金の予算について

小嶋 貴子

【問1】経済対策において、低所得世帯支援に1世帯あたり7万円を追加することが盛り込まれた。スピード感を持って迅速に対応、12月中に支給することを要望する。

【答1：福祉課長】7万円は本年度中に支給する。

【問2】公明党は、支援策として7つの提言をした。①低所得者世帯を対象とした電気、ガス、エネルギー、食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するための支援②物価高騰の影響を受けた、生活者に対して、プレミアム商品券や地域で活用できるマイナポイント等を再度発行して下支えする取り組み③エネルギー費用負担を軽減するための、省エネ性の高い家電、エアコン、給湯器等への買い替え等の支援④医療機関、介護施設障害福祉サービス施設等、保育所学校施設等に対する食料品価格の高騰分等の支援⑤農林水産業における畜産経営の負担軽減の支援、化学肥料からの転換に向けた地域内資源の活用等の支援⑥エネルギー、価格高騰の影響を受ける中小企業、商店街、自治会等の負担緩和や省エネの取り組み、中小企業の賃上げ、環境整備などの支援⑦地域公共交通、物流事業者や地域観光事業者等のエネルギー価格の高騰に対する影響を緩和、省エネ対策、地域に不可欠な交通手段の確保等の支援

【答2：財政課長】今回の交付金はそんなに大きな額ではない。県の交付金事業を見定めて検討し、活用したい。

【答2：町長】非常にしょぼい。わかりますか？満足できる政策は打てない。

### 防犯灯の設置について

【問3】県道美々津線の通山小学校から浜へ降りていく道が暗く、見通しも悪く、女子中学生が帰宅する際、非常に怖い思いをしていると言う相談を受けた。ここに防犯灯をつけるべきと思うがどのように対処するか？

【答3：まちづくり課長】不点灯の街灯の修理、新規設置のため、NTTに許可申請をし設置に向け取り組んでいく。

### 死亡届の手続きについて

【問4】窓口で受付をした後、その方々に応じた健康保険、年金に関する書類等を送付されているが、死亡届を出した際に、必要な書類と手続きのわかる小冊子やリーフレットを用意すべきではないか？

【答4：町民健康課長】文書等を作成し、住民に寄り添った窓口対応を心がけていく。

### 障害者スポーツ支援について

【問5】障害者スポーツ大会は、障害のある方々の社会参加の推進や、国民の障害のある人々に対する理解を深めるために行われている。障害者スポーツの練習場所や、道具など町で支援すべきではないか。その対応を問う。

【答5：教育課長】新年度、ポッチャとフライングディスク等購入予定。町内の施設でも練習が可能になる。

【問6】新教育長に、町の教育方針、教育理念、目指す教育見解を尋ねる。

【答6：教育長】教育の基本的な目的は、子供の可能性を最大に伸ばすこと。組織力が大事。学校、家庭、教育委員会、地域の教育力。三つ子の魂100まで、脚下照顧、昔からの諺の通り、しつけが大事である。



## 県内最下位の小中学校 トイレ洋便器率

田中 宏政

【問1】令和5年9月1日現在、全国の公立小中学校におけるトイレの洋便器率は68.3%、宮崎県は55.0%。川南町では31.3%で、県内最下位となっているが、その原因は。

【答1：町長】今までの行政が、在校生に対する関心が薄かったと思っている。私になってから、トイレの改修に入っているが、やはり一番大事なことは在校生を大事にすること。満足のいくようなトイレ改修を進める。

【答1：教育課長】大規模な改修を入れて丸ごと洋式にしてしまうなど、大掛かりなことも考えながら、対策を練って洋式化を進めていかないといけないと考え

ている。

【問2】小中学校トイレ洋便器率が都農町68.4%、高鍋町78.7%、木城町82.3%となっていますが、恥ずかしくないか。

【答2：町長】時代の流れを無視した行政の怠慢であり、今後どんどん改めて、なるべく早く県の平均値まで追いつきたい。

### 小中学校の学力向上のために

【問3】AIドリル導入について。

【答3：教育課長】新年度予算にて導入を予定し、ソフト選定等準備を進めているところである。

【問4】令和4年度英語教育実施状況調査で、さいたま市は英検3級以上の英語力がある中学3年生の割合が86.6%、4回連続の全国1位となった。全国平均が49.2%。川南町内中学3年生の英検3級程度以上の取得の割合は。また、川南町独自の英語教育は。



## 鶏糞発電所2号機の町の対応

河野 禎明

【問1】鶏糞発電所1号機の横に今2号機建設の計画があるが、町は事業計画書を受け取っているのか。

【答1：環境課長補佐】令和4年9月1日に第二発電所の設備整備計画の認定申請書が提出され、産業推進課が受理している。当時の町長らを含めた関係各課の回覧や、決裁を経て9月7日に認定通知書を発出している。1号機とは別の環境保全協定書の締結を要すると、町は総合的に判断し、令和5年12月7日宮崎バイオマスリサイクル株式会社に対し環境課長を通じて同要請を行った。

### 畜産飼料の自給率を高める政策

【問2】今中国が豚の大増産、インドは十数億の民が牛乳を飲み始め、酪農がすごい勢いで増えている。輸入飼料はしばらくは下がる見込みがないので、町は耕作放棄地を利用して飼料を作る目標を持つ必要はないか。

【答2：町長】耕作放棄地と言うのは、気候が悪い土地が肥えてない植えても収穫が上がらないとか諸問題を抱えた耕作放棄地だと思う。とうもろこし、大豆を植えても投資した金額と同じ位の売り上げがあるのか1番の問題だ。

### 危険、通学路の改善

【問3】川南小から川南病院のほうに行くと更生橋がある。そこを斜め左に入ると300m位先に新しい住宅が20数件立っている。県道から200m位の間は小中学校の通学路が非常に狭く、子供たちは車が来れば必ず避けなければならない。自転車の中学生も降りて避

けなければならない。事故が起きてからでは取り返しがつかない。早急な改善が必要ではないか。

【答3：建設課長】以前から、道路改良の要望があり町としても把握している。しかし、用地が狭く未解決になっているところだ。町としても生徒児童が増えていくことによる対策について苦慮しているところだ。建設課内で協議した結果、グリーンベルト、速度落とせらの、路面標示で対応する予定だ。

### ぶらっつの売り場改善

【問4】ぶらっつは県外の客が非常に多いので、ぜひ店内に地元の牛肉、豚肉、鶏肉、通浜の、魚の売り場が必要でないか。

【答4：副町長】毎月1回のプラッツの役員会に伝えて検討する。

【問5】ぶらっつで店舗型ふるさと納税を導入すれば、地元の肉類、魚を買った人レストランでステーキやうな重があれば、その場でふるさと納税が可能で1万円納税すればレジで3千円の割引ができる。町は1億から2億の税収見込みがある。早急に準備すべきでないか。

【答5：副町長】先程の案件と合わせて役員会で議論する。

### 旧療養所の裏の広大な敷地の払い下げの要請

【問6】広大な敷地に雨が降ると汚水が川南湿原に流れ込み湿原を守るのが大変なことになっている。この土地を払い下げてもらい、排水路を作る必要があると思うが。

【答6：町長】去年の7月に東京に国立病院機構独立行政法人の本部があるのでそこを訪問してわが街の国の指定の湿原と80年経った給水塔。これをなんとか守りたいので、土地を払い下げてくれと言う話をした。そうしたら、そういう話は初めて聞いたとの説明があったので要望書をちゃんと説明して渡してきた。

【答4：教育課長】33.55%。独自の英語教育はしていない。協議した上で、考えていきたい。

### ぶらっつについて

【問5】高速道路の食堂の営業時間は、20時閉店という店舗が多い状況なのに、ぶらっつでは15時30分閉店となっている。連続高速運転の疲労と緊張をリセットする役割もあるため、改善できないのか。

【答5：産業推進課長】慢性的な人手不足と、人材の調整の難しさというところから、今そういう時間短縮ということになっているが、できるだけ早いうちに毎日営業が再開できるような体制づくりを進めている。

### 新中学校設計業務委託契約違約金について

【問6】4月23日に選挙があることが分かっているのに、その1か月前のあの時期に新中学校設計業務委託契約をする必要があったのか。選挙の結果により違約

金の発生が予見されるのに、なぜ予算を執行したのか。

【答6：町長】事実ではないかもしれないが、恐らく4選できると確信をされて、少しでも早めのほうがいいということで、設計料を支払ったのではないか。

【答6：教育課長】同様な混乱を生じさせないように、細心の注意を払いながら事業の実進を進めていきたい。

【問7】4,292万円違約金が発生する可能性がある契約をあの時期になぜしたのか。選挙があっても通るからという甘い憶測、慢心だけでそれを執行し、4,292万円損失を町に与えた前執行部に賠償責任請求できないか。

【答7：副町長】法律の専門家に相談したが、できない。

【問8】逆の立場ならば、町に損害を与える可能性がある契約をするか。

【答8：町長】選挙後しかしない。

◎福島県西白河郡矢吹町 (R5.11月現在)

【人口】17,035名  
 【世帯数】6,364世帯  
 【面積】60.4km<sup>2</sup>  
 日本三大開拓地の一つ



**矢吹小学校**



東日本大震災以前に耐震工事を実施済。東日本大震災では最小限の震災被害に留まる。防災拠点機能強化、教育環境の機能的改善・資質向上、屋上に太陽光パネルを設置しクリーンエネルギー化に取り組む。県産材が多く利活用され、温かみを感じた。

**矢吹中学校**



昭和40年に3校が統合、町内唯一の中学校。2011年に新校舎建設。大学のキャンパスをイメージするような建物配置。生徒が伸び伸びと更に逞しく成長していくにふさわしい建物。2011年新体育館で卒業式、同日午後には震災発生、新体育館が一転して避難所となった経緯がある。

**矢吹町複合施設KOKOTTO (ここっと)**

- 建設費：14億590万1200円 (補助金6億2148万円 補助率44.2%)
- 4つの機能  
 中央公民館、図書館、観光交流施設、未来(みら)くるステーション(子育て相談・ファミリーサポート他)



**未来(みら)くるやぶき(屋内外運動場)**

- 建設費：5億1823万8千円、委託費3699万円 (共に10割補助：子ども元気復活交付金)。
- 遊具費：4659万円(2/3補助：屋内遊び場確保事業)
- ※東日本大震災で福島原発の事故により、子ども達が屋外で運動や遊べる場所が減少。こどもの運動と自由に遊べる場所と機会を確保し、放射能の影響のない施設を建設。町職員が補助金を見つけ申請をしたとのこと。



- 運営状況：年間約5万人の利用。令和5年9月末のべ約36万人。利用料無料、時間入替制。安全性抜群。
- 立地条件：JR矢吹駅隣で町外からの利用も多い。中心市街地にあり、休日は賑わい創出に活用。

**公共交通推進事業：行き活きタクシー他**

町内のみ。申請登録70歳以上。5000円分支援。

**企業誘致促進事業の取組み**

トップセールス、既存企業への支援(訪問活動・御用聞き)等。「矢吹経営懇話会」設置などを展開。過去5年間で14社。投資総額94億400万円。固定資産税増額が見込め、町財政運営に好影響をもたらしている。



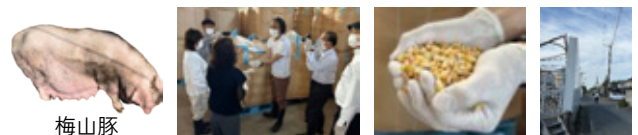
◎茨城県猿島郡境町 (R5.12.1現在)

【人口】23,791名  
 【世帯数】9,126世帯  
 【面積】46.59km<sup>2</sup>



**株塚原農場：養豚業や自社飼料生産工場を視察**

希少価値の高い中国原産の豚。国内で唯一の肥育農場。母豚を50頭に制限。飼料への『こだわり』で自社、契約農家で子実(しじつ)とうもろこし、大麦等を生産。隣接する飼料倉庫兼加工場で乾燥、粉碎、配合を実施。常に新鮮な状態で配給可能。資源の循環(敷材・堆肥・飼料)、肉質(肥育期間10か月)、動物愛護、日本初の電解水防疫対策、地域密着(餌、敷材は地産活用)。毎月学校給食に食材提供。直営販売など細部に『こだわり』を意識。近隣には、民家が点在。豚の鳴き声や臭いが気にならなかった。高さ3mの柵で農場を囲い野生の猪等から梅山豚を守っている。(写真右端)



梅山豚 (メイシャントン) 説明をされる塚原社長(中央)

**編集後記**

『川南町⇄大谷翔平!?』

10年総額1015億円という、とてつもない金額でドジャースと契約した大谷翔平選手。これがどれだけ凄いのか。1年で102億円、時給に換算すると116万円、秒給だと322円だそう。これには、1秒につき吉野家の牛丼1杯食べられると驚きの声も。そしてもう一つ。川南町の当初予算は114億円なのだが、一人の選手が自治体予算を賄えるような金額をたたき出すのだから、驚きを超えてもはや意味が分からないレベルである。見るものに夢を与える大谷選手。2024年も日本を、そして被災された北陸の皆さまを勇気づける活躍を期待したい。(中村 昭人)

【委員長】徳弘美津子 【副委員長】中村 昭人 【委員】乙津 弘子/内藤 逸子/児玉 助壽/中瀬 修